

新執行部体制がスタート

国 労 水 戸

国労水戸地方本部
 水戸市中央1-1-11
 ENYビル2F
 029-221-4008
 発行責任者 菊池忠志
 編集責任者 坂本公則



国労水戸地方本部は10月5日、日立市内に於いて第6
 5 回定期大会を開催し、一年間の闘いの総括とJRの安全
 輸送確立、職場における労働条件改善、JR及びグループ
 を含む非正規労働者の正社員化及び処遇の改善、国労の最
 重要課題である組織拡大、原発再稼働反対、平和の課題、
 2014年春闘など向こう一年間の闘う方針と決意を固め
 合いました。地方本部は、第2回執行委員会を開催し任務
 分担及び大会で出された意見等について意思統一を図りま
 した。新執行部は引き続き諸課題に全力で取り組む事を確
 認しました。



2010
 年大晦日、
 日本航空は
 165人に
 及ぶ違法・
 不当な整理
 解雇を行いました。2011
 年1月に148名が解雇
 撤回と職場復帰を求めて東
 京地裁に提訴しました。

地方本部は9月に開催さ
 れた分会代表者会議で、J
 AL原告団を招き現状報告
 と高裁勝利を目指す闘いに
 ついて報告を受けました。

JAL原告団が支援要請



エルダー組合員との意見交換

職場・地域の活
 動に自信を持ち、
 引き続き、組織
 拡大に全力をあ
 げよう！

JAL不当解雇撤回国民
 共闘が結成され、本格的な
 反撃の運動が始まりました。
 日航の整理解雇は、判例法
 理として確立されている
 「整理解雇4要件」を真つ
 向から踏みこむ行為であ
 り、企業の言いなりになら
 ない労働者の排除と労働組
 合の弱体化を狙った不当労
 働行為でもあります。安全・
 安心な空の旅を願う利用者・
 市民の立場からも、今回の
 不当解雇は重大な問題となっ
 ています。

公共交通機関で働く労働
 者が、雇用不安がなく、心
 身ともに健康で安定した状
 態で働くことは、安全運航
 の基本的条件です。また過
 度な人員削減やベテラン乗
 員の切り捨ても安全運航の
 基盤を揺るがし、利用者の
 信頼を失うこととなります。
 2つの原告団は、新たな弁
 護団も加わり控訴審での勝
 利をめざして闘いがはじま
 りました。不当解雇を撤回
 させ、原職復帰を勝ち取り、
 「解雇自由」の社会を許さ



ず、労働者の雇用と生活、
 平等と人権が尊重される社
 会実現のために取り組み強
 化と支援要請を訴えました。

2013年度地方本部執行体制

- | | | |
|--------|-------|-----------------------|
| 執行委員長 | 菊池忠志 | 総括・政治・共闘・共済担当 |
| 副執行委員長 | 埴正人 | 総務・財政部長・企画・労農担当 |
| 書記長 | 赤沼廣行 | 企画部長・戦術担当 |
| 執行委員 | 出羽正則 | 業務部長・企画担当 |
| | 坂本公則 | 教宣部長・レク活動担当 |
| | 富田繁昌 | 調査部長・賃対担当 |
| | 久保田重明 | 組織部長・企画・家族会
青年対策担当 |
| | 大賀泰男 | 法対部長・財政担当 |
| 会計監査 | 塩沢富世 | |
| | 大津 勝 | |
| | 黒沢一美 | |

特別執行委員 塚原良雄（茨城支部）・坂本信良（福島支
 部）・泉秀俊（工務）・高木道治（電気）・菊地悟（運輸）・
 長谷川伸一（運転）・齋藤七重（婦人部）・塩沢富世（会計
 監査）・大津勝（同左）・黒沢一文（同左）